

7月
24日

ユネスコ無形文化遺産 尾張津島天王祭

～朝祭～

尾張津島天王祭が縮小規模ながらも3年ぶりに開催されました。24日(日)の朝祭では、きらびやかに飾り付けた市江車が天王川公園にて展示され、多くの見物客でにぎわいました。今年は3人の鉾持ちが、御旅所から津島神社に向かって走り、3人目の鉾持ちが太鼓橋の注連縄を切って拝殿に布鉾を奉納しました。奉納された布鉾から滴る雫には病気を治すご利益があると伝えられており、雫をいただく参拝者の姿もみられました。御旅所へ渡御した神輿が津島神社に戻った後、拝殿では奏楽団によって見事な神前奏楽が披露されました。



今月の表紙



8月
7・15日

愛西の子供ザイレン

～塩田の子供まつり・森川(下古川)の盆たたき～

8月7日に行われた塩田の子供まつりではオシャウトウを作り、祭のはじめに参加者全員で参拝します。参拝が終わると、子ども達は花火や輪投げを楽しみました。

森川町の下古川では、8月15日に毎年恒例の盆たたきが行われました。子ども達は藁苞(わらつと)と呼ばれる稲わらを紐で縛った棒を持って一軒ずつまわり、伝統の歌を歌いながら藁苞で地面を叩きます。

このようなお祭りは子供ザイレンとよばれ、他にも赤目や川北、下一色など木曽川流域の地域にみられます。水難防止や災厄除けを祈願して、7月から8月にかけて子どもを中心に行われます。今後も大切にしたい夏の伝統行事です。

